

あかね



令和6年12月6日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

反省は終わったけれど

先月実施した2学期末考査のテスト反省も終わった頃ですが、テスト期間中の家庭学習時間調査は驚くべき結果となりました。本市の家庭学習の目標は学年×10分+10分であり、中学校は小中一貫で7～9年生と考えますので、中1が100分、中2が110分、中3が120分となります。この時間は、平日の学習時間の目標ですから、テスト期間中の学習時間はこれ以上であると期待されましたが、テスト期間中に目標時間を超えた生徒の割合は次の通りでした。



	1 年	2 年	3 年
達成率	32.7%	62.9%	73.9%

1年生は7割近くが達成していない状況で、1学期末考査の調査より学習時間は少なく、非常に残念に思います。また、細かく見ると次の通りです。

	0 分	30 分程度	60 分程度	90 分程度	目標以上
1 年	8.9%	14.5%	25.8%	18.1%	32.7%
2 年	8.9%	6.4%	8.9%	13.4%	62.9%
3 年	0.4%	1.7%	9.0%	15.0%	73.9%
全校	6.0%	7.7%	15.0%	15.6%	55.6%

学年が上がるにつれ目標達成率は高くなりますが、学習時間が1時間以下の生徒は全校で28.8%であり、部活動停止期間の意味がありません。テスト期間がこの程度ですから、日常における家庭学習はこれよりもっと少ないのではないかと心配になります。学習は理解する場と定着する場が必要です。学校の授業は理解する時間であり、家庭での学習が定着させる時間です。授業中に居眠りしたり、集中していなかったりするような家庭での定着ははるかに難しくなりますが、授業で理解しても家庭で復習しないと長期記憶には残りません。知ったことを人に話すことで、知識が定着することと同じです。

では、テスト期間中の時間を何に使っていたかが疑問になりますが、多分スマホやゲームではないかと思われま。先日、オーストラリアでは16歳未満のSNSの利用が法律で禁止され、77%の世論が賛成しています。スマホやゲームには依存性があり、適切な使い方が必要であることは科学的にも証明されています。故に、どう付き合うかが大事であり、そのためにフォーサイト手帳で計画を立てる取組をしています。テストの反省とともに、テスト期間中の家庭での過ごし方も振り返り、反省を日常に生かしてほしいと思います。毎日の積み重ねの上に、将来があるのですから。

かわなべ青の俳句大会

先月の30日(土)、川辺のmarukawa ホールにて開催された第26回南九州市かわなべ青の俳句大会表彰式にて、久保瑛仁さんが南九州市教育委員会賞を受賞しました。また、本校は学校賞にも輝きました。



○ 南九州市教育委員会賞

続編に僕と追める夏の風

○ 特選

立ち読みで時のとまった春休み

大綱の熱気伝わる秋の夜

夏休み傾いている電波塔

【受賞作品の紹介】

二年 久保 瑛仁

一年 井上 そら

二年 福永 琉仁

二年 上小川 潤

国語科で学んだ俳句学習の成果です。日常の風景や出来事に思いを巡らし、5・7・5でまとめると感性も豊かに育つのではないのでしょうか。今回最高賞の福永耕二賞に輝いた屋久島町立小瀬田小学校3年の田村碧大さんの作品の「しもばしら くつがざくざく 食べている」は、2年生の生活科の授業で霜柱を学んだときに詠んだ句でした。表彰式の講評でも、「年間を通じ詠みためた作品の中から応募することも大切ではないのでしょうか。」と述べられていました。来年に向け、俳句づくりに挑戦してみたいか



2 学期も残り二週間あまり、寒さに負けず元気に自力登下校！

亀山地区収穫祭

先日(1日(日))、亀山地区コミュニティーセンターで収穫祭が開催されました。本校水泳部や生徒会役員をはじめ、卒業生も含め32名の生徒がボランティアとして参加し、地域の方々に喜んでいただきました。収穫祭も450名の参加者があり、大盛況でした。子どもたちは、テント設営や机や椅子の運搬などの会場づくりに始まり、餅つきやきなこ団子作りに挑戦。餅つき終了後、昼食でいただいたきなこ団子と豚汁の味は、



最高だったと思います。餅の付いた道具を洗うのに苦労していましたが、片付けまでしっかり手伝い、最後はお菓子やノート、餅などのプレゼントをいただき満足した様子でした。石臼と杵で餅つきする風景が各家庭で見られていたのは昔のこと、今はイベント等では目にしなくなりましたが、地域の方とともに餅つきした体験は、地域の一員としてみんなで地域を盛り上げるなど、多くの学びを得る機会になったと思います。亀山地区の皆様、お世話になりました。今後もよろしくお願いいたします。

保育園実習 IN みくに

3年生の家庭科では保育を学びますが、今週はみくに幼稚園・みくにキッズ保育園を訪問し、保育実習を実施しました。授業で

作成した絵本を持参し、生徒一人に園児3人で分かれ、絵本の読み聞かせを行いました。園児が真剣に聞いてくれ、中学生も園児以上に喜んでいました。地域で学び地域で育つことは大切なこと。受け入れてくださった幼稚園・保育園の皆様、誠にありがとうございました。



学校運営協議会

今週の3日(火)、第4回学校運営協議会を実施しました。今回は学校関係者評価が主な議題で授業参観の後、今年度の取組の成果と課題、次年度の教育課程の編成等について説明し、質問や意見をいただきました。今後の学校経営に生かして参ります。



【運営委員会が出されたご意見】

- 全体的に落ち着いて授業に参加しているが、授業の様子は学年や教科によって違う。興味・関心を高める工夫がもっと必要ではないか。
- タブレットを使った学習が頻繁になってきているが、書くことも大事ではないか。小学校では鍵盤ハーモニカも使わず、タブレットで学ぶ授業も見したが、五感を使って学ぶことも大事ではないだろうか。
- 小中連携の取組がしっかりなされている。小学校高学年になると中学校を意識してくると思うが、とても良い取組だと思う。また、中学校は小学校と違うことを意識させることも大事だと思う。
- 教師との言葉遣いが、友達感覚になっていないだろうか。家庭での言葉遣いも昔に比べれば変わってきているのかもしれないが、社会に出た時に困らないように教えるべきだと思う。
- 保護者が先生をあだ名で呼ぶ姿を目にすることがあるが、失礼ではないか。子どもがいないところでといっても、子どもに伝わると思う。学ぶ姿勢を教えることも、大切ではないか。
- PTAがその役割を担っているのであろうが、保護者間の交流や助け合いが十分なされているだろうか。つながりを大事にしたい。

お知らせ

これまで給食当番等でマスクを忘れた場合や、保健室で必要になった時には、コロナ禍で寄付していただいたマスクを活用していましたが、在庫がほぼ無くなりましたので、今後マスクの無償提供はできません。

なお、マスクを忘れた場合には、必要に応じてマスクを渡しますが、必ず代わりの新しいマスクを返却してもらうことにしますので、お知りおきください。



インフルエンザが流行る季節です。マスク・咳エチケット・うがい手洗いを！

一 家 庭 一 家 訓 と 実 践 し よ う 。